

留学先大学： ヴェネツィア大学
 留学先での所属学部・研究科： Humanities
 留学先での在籍身分： International exchange student
 留学期間： 2013 年 9 月～ 2014 年 6 月
 神戸大学での所属学部・研究科： 人文学研究科
 学年（出発時）： 修士2年
 本報告書記入日： 2013 年 ____ 月 ____ 日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

『イタリア留学のお手伝い Aiuto』 <http://aiutoitalia.com/>
 他には、イタリアへの留学経験のある友人や先輩、先生から、情報を集めた。

住居について

- ・住居のタイプ： 大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に） _____
- ・住居（寮，アパート）の名前： Junghans
- ・部屋の種類： 一人部屋 二人部屋 その他（具体的に） _____
- ・ルームメイト： 現地学生 留学生（出身国： _____） その他（具体的に） _____
- ・どのように探しましたか。： 大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に） _____
- ・大学までの通学時間・手段： _____ 20分，ヴァポレット(水上バス)、徒歩
- ・住居の周りの環境はどうですか。：

寮の立地は静かだが、夜になると寮に住んでいる学生たちがパーティーを始めたりする場合がある。門限が厳しいため、友人たちと週末に遊ぶ際は注意が必要。（門限はAM02:00）

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

大学の近くにスーパーがあり、そこで食料を買って自室で食べている。週末はだいたい、友人の家でパーティーをしているので、そこで料理をしている。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

なし。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期： 出発前 到着後
- ・履修登録の方法： On-line International Office等の仲介 その他（具体的に） _____
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。： 無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。： はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Letteratura Italiana		90分	6	約100 人	
2	Letteratura Italiana MOB.1	Tiziano Zanato	4時間 半	6	約20人	ボイスレコーダーなどを使って、授業を録音。それを使っての復習。
3	Storia della Repubblica di Venezia	Claudio Povolo	4時間 半	6	約50人	同上
4	Lingua Giapponese	Daniela Moro	90分	6	約50人	イタリアで日本語の勉強をしている人たちの補助をしているので、彼らの使う日本語の訂正。
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

黒板やホワイトボード、パソコンを使わずに、口頭のみで行われ、それをメモしてく授業もある。そのため、ヴォイスレコーダーなどは持って行ったほうがよい。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00		起床	起床	起床	起床	土日は	
9:00	起床	授業				友人たち	
10:00		(08:45~)				とスポー	
11:00	授業	授業			授業	ツをし、	
12:00	(10:45~)	(10:45~)			(10:45~)	夜は	
13:00	授業			授業	授業	パー	
14:00	(12:15~)			(12:15~)	(12:15~)	ティーを	
15:00	授業		授業			している	
16:00	(14:00~)		(15:45~)	CLa		ことが多い。	
17:00		CLa		(16:30~)			
18:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	旅行に行くことも	
19:00						ある。	
20:00							
21:00							
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。(800字～)

現在のところ、とりわけ不自由なく、留学生活を送れている。

カ・フォスカリ大学は、イタリアでは数少ない本格的に日本語・文化を研究している大学機関であり、日本語を学んでいる学生が多く、彼らとの交流は非常に有益なものだ。彼らの日本人に対する姿勢は非常に友好的であり、私の場合は、サッカー経験者ということもあり、ほぼ毎週、週末には彼らとサッカーをして親睦を深め、またイタリア語の指導してもらい、生活面や研究面でもよく助けてもらっている。当初は苦労していたイタリア語での会話も彼らとの交流の成果として、徐々に理解できるようになってきており、今ではとくに不自由することはない。

生活面に関しても、これといった問題は起こっていない。食事に関しては、ほぼ毎日、大学の校舎近くにあるスーパーで買い物をしている。ジュデッカ島の寮(Junghans ユンガンズ)には、調理設備が整っておらず、火器の使用はできない。料理をしたければ電磁調理器を買ってくる必要がある。(島内の電気屋や本土側に行けば購入可能。20~30ユーロ)そのため、それを不満に思う学生もいるようなので、不満があるならどこかのアパートでルームシェアをするほうが無難だろう。私は、平日はスーパーで安く売っているパンやサラダを食べて生活し、週末は友人の家でパーティーをしているので、そこでパスタを作ってもらったり、私が日本食をふるまい、仲間内で料理を持ち寄って過ごしている。気候は神戸と比べると寒冷なので、ジャケットなどは必須である。あるいはイタリアで衣類を購入するのも手である。安価な店(たとえば、PIAZZA ITALIAという、イタリア版のユニクロのような衣服店 Piazzale Roma から24h線のバスで行けるAuchanというショッピングモールの中にある)で購入すれば、こちらの冬は十分に過ごせるだろう。ただ、アックアアルタと言ういわゆる高潮が頻繁に発生し、通路が水没するので、長靴は必須。イタリアで購入しても10~20ユーロなので、日本から持っていくよりも現地で買ったほうが良いように思われる。

最後に、イタリアの公共機関や大学事務のサービスでは日本では考えられない対応が多々ある。たとえばイタリアの郵便局は、荷物の配達はかなりいい加減で、届かないこともままある。外出などで荷物を受け取れなかった場合、郵便局まで自分で取りに行かねばならず、いろんな場所をたらいまわしにされることも多い。(ちなみにジュデッカ島に住んでいる場合、本土のマルゲーラという場所にまで取りに行かねばならない。本土に住んでいるのなら、リアルト橋付近の郵便局) 頭を悩まされることも多く、イタリアだからと念頭に置いて行動しておいたほうが良いだろう。そうしておけば、いざというときに冷静に対応できるのではないだろうか。